

# さとう健一郎



▲平成25年5月 副議長に就任して初めて本会議の議事進行を務めました。

◀本会議場で秋田県知事の発言を見守りました。

◀由利本荘市の市長・議長及び議員各位から地域要望を県議会議長と共に承りました。

鳥海山とそれに連なる圏域の  
発展こそ私の願い。  
県議会議員六期二十三年目を  
日々全力で活動し続けています。

◎ 鳥海ダムの早期着工

◎ 日本海沿岸東北自動車道の  
事業継続と圏域国・県道の  
更なる改良促進

◎ 農業振興施策の充実と下水道  
など生活環境整備事業の促進

◎ 商工業を支援する施策の  
更なる充実強化

◎ 少子高齢化社会に対応できる  
福祉施設の充実

◎ 情報化社会に対応する環境を  
レベルアップ

◎ 官公事業の県内業者への  
優先的発注と  
地元産品の優先使用

◎ 鳥海山麓地域は、次代の可能性に  
満ちたクリーンな産業の適地

# Link

2013.10 No.23

ごあいさつ

自由民主党会派 会長 鈴木洋一

私たちが誇りに思う日本を取り戻す環境が整って参りました。自民党は昨年末の衆議院議員総選挙で政権を奪還しましたが、この勝利に奢ることなく「勝って兜の緒を締めよ」の精神を持って先の参議院議員選挙を戦い抜き、多くの国民の皆様の支持により衆参両院の「ねじれ」に終止符を打つことができました。

県議会自民党会派は、今後とも国民県民の厳しい視線が注がれ続けているという緊張感を胸に、各地域の意向を取り入れるための対話集会や意見交換会を実施し、県内各地域にしっかりと目を配って参ります。県議会では県から提出される政策が効果的か、無駄は無いのか、秋田県民の利益に資するものかどうかなどをチェックすることはもとより、地域の意見を取り入れた会派からの政策立案も積極的に行って参ります。

自民党は国民の負託に応え、責任を持って国家国民のための政治を進めなければなりません。これからは「日本を取り戻す」という戦いの本当のスタートであり、私たちは国民県民の皆様とともに頑張って参ります。



矢島町の花立牧場公園から望む鳥海山



秋田県議会議員 副議長  
佐藤 健一郎

平素のご厚誼に篤く感謝と御礼を申し上げます。

今年伊勢神宮の式年遷宮が行われた年です。式年遷宮は伊勢神宮で1,300年に亘って続いている大祭であり、20年に一度、社殿や宝物、衣装などを全て作り替える行事で今年62回目です。10月2日には日本に於ける最高位の神、天照大御神(あまてらすおおみかみ)のご神体である「八咫鏡(やたのかがみ)」が新しい社殿にお遷りになられた「遷御の儀」が厳かに

無事に執り行われました。私はこの歴史的大行事に触れて、改めて先人が営々と築き上げてくれた日本国の歴史の厚さと重さを再認識し、感謝の気持ちを新たにしました。と同時に自然の恵みと試練を畏敬の念を持って受け止める日本の心と先人が残してくれたふるさとを責任ある行動を取って次世代に渡して行こうとの想いを強く持ちました。

皆様からはこれまでと変わらぬご指導下さいます様、宜しくお願い申し上げます。

自由民主党 由利本荘市第二支部

〒015-0404 由利本荘市矢島町七日町字熊之堂4

電話 0184-27-5511 ファクス 0184-55-2324

■http://ken-sato.sakura.ne.jp/ ■E-メール ken-sato@chokai.ne.jp

自由民主党会派と県民をつなぐ  
**Link** リンク  
発行/平成25年10月10日  
ご質問、ご意見をお聞かせください。  
編集/秋田県議会自由民主党会派 政務調査会  
〒010-8570 秋田市山王4丁目1番1号【県議院内】  
電話 018-860-2040 ファクス 860-2102

# 強固な秋田を!

## —成長続ける地域づくり—

今回の補正予算は、8月9日からの大雨や台風18号等による災害復旧対策事業のほか、新事業展開資金や木材産業振興臨時対策事業などを増額しました。また、「除排雪地域支え合い推進事業」や「雪下ろし等安全な雪対策推進事業」などに予算を計上しました。



### 平成25年度9月補正予算の概要

## 補正予算総額

# 91億1,273万円

[補正後 予算総額 6,153億円]

## 秋田の元気づくりに向けた取り組み

### 成長に向けた資源の活用

- **新事業展開資金** ..... 11億4,305万円  
再生可能エネルギー発電設備の整備に係る資金需要の増加に対応するため、再生可能エネルギー設備資金の融資枠を拡大。
- **木材産業振興臨時対策事業** ..... 3億6,047万円  
輸入材に対抗できる県産材の生産体制を確立し、木材の安定供給を図る。
- **林業・木材産業構造改革事業** ..... 2億8,875万円  
林地残材(低質材)等の利用拡大を図るため、木質チップ及び木質ペレットの製造施設等の整備に対し助成。
- **タイ誘客プロモーション事業** ..... 383万円  
タイから本県への誘客を促進するため、平成25年12月の仙台ーバンコク定期便の就航を契機に、タイの旅行関係者等に向けた誘客宣伝活動を集中的に実施。
- **環日本海クルーズ推進事業** ..... 1,619万円  
大型の外航クルーズ船の寄港に対応するため、必要な施設の整備等を実施。

### 社会資本の整備

- **公共事業** ..... 46億7,924万円  
※主に災害復旧対策事業(詳細は災害復旧対策の主な概要を参照)

### 未来を担う人材の育成

- **大館地区統合高校(仮称)整備事業** ..... 2億7,168万円  
大館地区の3校(大館工業高校、大館桂高校、大館高校)を統合し、旧大館商業跡地に新たな校舎を整備(総事業費約47億円)。

### 健康で安心して暮らせる秋田の構築

- **在宅医療推進支援事業** ..... 5,510万円  
在宅医療の拠点として在宅療養支援に取り組む診療所等の設備整備に対する助成等を実施。
- **救急医療対策事業** ..... 600万円  
災害拠点病院に配置する災害派遣医療チーム(DMAT)の養成に要する経費に対し助成。
- **雪対策支援調査事業** ..... 3,098万円  
・除排雪地域支え合い推進事業 ..... 295万円  
雪下ろし作業での事故を防止するための普及啓発の実施。  
・雪下ろし等安全な雪対策推進事業 ..... 2,803万円  
雪下ろしの地域ビジネスとしての可能性を検証するため、雪下ろしコーディネーターを配置し、地域のニーズに応じた雪下ろし作業の調整等を実施。

### 経済・雇用対策

- **緊急雇用創出等臨時対策基金事業** ..... 9,668万円  
基金を活用した県及び市町村の事業を実施し、雇用の創出を図る。

## 災害復旧対策の主な概要

8月9日の大雨や台風18号等による被害対策について、災害り災見舞い金や農業経営等の再建支援のほか、災害復旧対策事業等を計上しています。

### 災害弔慰金等の支給

- **災害弔慰金等負担金** ..... 1,313万円  
災害により亡くなられた方の遺族並びに障害を受けた方に対し、市町村が支給する災害弔慰金等の一部を負担する。
- **災害り災者見舞金** ..... 6,140万円  
災害により被害を受けた世帯に対して見舞金を支給する。

### 個人住宅の改修等

- **災害援護資金の貸付** ..... 7,690万円  
住家の全壊・半壊及び家財の1/3以上の被害があった被災者に対して災害援護資金を貸与するとともに、災害援護資金を無利子とするために利子補給を行う。

### 農林水産業関係

- **農業経営等復旧・再開支援対策事業** ..... 4,906万円  
農業経営等の早期再建を支援するため、被害を受けた農地や生産施設等の復旧及び再生産に向けた取組に対し助成する。
- **農業・漁業経営フォローアップ資金預託金貸付事業** ..... 5,017万円  
農業・漁業者の経営維持を図るため、融資枠の増額や利子補給を行う。

### 災害復旧対策

- **公共土木施設災害査定調査事業** ..... 1億7,700万円  
道路や河川等の公共土木施設について、災害査定申請に必要な調査を行う。
- **漁港災害関連事業費** ..... 5,000万円  
豪雨により流木等が漂着した漁港海岸において、流木等の処理対策を実施する。(岩館漁港海岸、八森漁港海岸)
- **災害復旧対策事業** ..... 40億6,952万円  
・国庫補助事業 ..... 20億4,572万円  
被害を受けた土木施設、県立学校施設(西仙北高校、大館工業高校)等の復旧  
・県単独事業 ..... 20億2,380万円  
被害を受けた土木施設等の復旧



## 県民一丸となってこの大イベントを成功させましょう!

秋田ができる至上の《おもてなし》を

秋田デスティネーション  
キャンペーン  
平成25年10月1日～12月31日



### 秋田デスティネーションキャンペーン(秋田DC)とは

県、市町村、観光関連事業者等とJR6社が一体となって秋田を全国にPRし、観光客を呼び込む国内最大規模の観光キャンペーン。秋田県での単独開催は、秋田新幹線「こまち」が開業した平成9年の「秋田花まるっ」キャンペーン以来、16年ぶりです。

秋田が大切に守り育ててきた豊かな「食」「温泉」「自然」などを、全国の皆さまに直接感じてもらい、もう一度「あきたにしました。」と言っていただけるよう、県民一丸となってお客さまを「おもてなし」しましょう。



### キャンペーンガイドブック

県内各地への旅を誌上で体験できる、ストーリー記事とレイアウトが特徴的な一冊。ぜひ、県外のお住まいの知人、友人にもご紹介ください。



### 秋田おもてなし運動 秋田おもてなしSTAFF募集中

全国からのお客さまをオール秋田で「おもてなし」し、旅行者に「また秋田に来たい」と思わせる雰囲気を広げていくことを目指して、「秋田おもてなしSTAFF」を募集しています。職場や地域の仲間と登録し、観光客の皆さんとの触れ合いの輪を広げていきましょう。

### おもてなしスタッフ登録方法

地域や職場の仲間と概ね数名以上の「おもてなし」グループをつくってください。  
※同じ団体や会社でも、グループ単位で申し込むことが可能です。  
専用の登録申込書に必要事項を記入の上、下記へFAX・電子メール・郵送にて提出ください。

TEL018-860-2265 FAX018-860-3868

e-mail akita-cp@mail2.pref.akita.jp  
〒010-8572 秋田市山王3丁目1-1 県庁第二庁舎1F  
秋田県観光キャンペーン推進協議会事務局

登録後、「秋田、総おもてなし宣言書1部」と登録人数分の「あきたおもてなしSTAFF缶バッジ」を配布、ウェブサイトグループを紹介します。

あきたにしました。

検索

http://www.akitacp.com

